

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 1
見極めよう！

年 組 氏名

このシリーズでは、「複合動詞」の意味・用法を学習します。

複合動詞とは、二つ以上の動詞が組み合わさって一つの動詞になった語です。例えば、

「飛ぶ」+「上がる」 → 「飛び上がる」
「考える」+「込む」 → 「考え込む」

などがあります。

会話や文の中に効果的に使うことで、表現が豊かになります。例えば、

「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考えた。」
「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考え込んだ。」

だと、複合動詞を使った方は、あれこれと検討することがあって時間もかかっている様子が表されます。

複合動詞の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉があります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

<課題>

- (1)から(5)の文を読み、複合動詞を終止形で抜き出しましょう。
- (1)から(5)の文のうち、文として最も正しく成り立っているものを一つ選び、番号で答えましょう。

番号	文		複合動詞
(1)	私たちの練習の様子に、相手チームは「勝てそうもない」と見通して、あきらめたようだった。	→	
(2)	マラソン大会の応援では、最後の一人がゴールするまで見透かしたい。	→	
(3)	先輩が言うことだからと言って、すぐ信じてしまわず、本当かどうか見極める必要がある。	→	
(4)	未来まで見届けて、資源を無駄づかいしない生活をする。	→	
(5)	相手の魂胆(こんたん)を見切って、冷静に対応する。	→	

番号

文として最も正しく成り立っているもの

→

--

[言葉を使いこなすシリーズ] 複合動詞 1
見極めよう！

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	みとお 見通す	
(2)	みす 見透かす	
(3)	みきわ 見極める	①最後までみとどける。確認する。②物事の奥底までを知りつくす。③見切りをつける。
(4)	みとど 見届ける	
(5)	みき 見切る	

文として正しく成り立っているもの (3)

問題の文の複合動詞を入れ替えて、正しい短文になおしましょう。

番号	短文づくり
(1)	
(2)	
(4)	
(5)	

チャレンジ① 上の複合動詞から一つを選び、「見」の部分に違う動詞が入る複合動詞を考えましょう。

選んだ複合動詞＝

答＝

例

見上げる

さし上げる

チャレンジ② ①で考えた複合動詞の意味を、辞書を使って確かめましょう。

--

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 1
見極めよう！

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	見通す	①始めから終わりまで全部見る。②さえぎられずに遠くまで見る。③人の気持ち、将来など、見えないところまで見る。
(2)	見透かす	(人の胸中などを) 悟って知る。見抜く。
(3)	見極める	①最後までみとどける。確認する。②物事の奥底までを知りつくす。③見切りをつける。
(4)	見届ける	最後まで見て確かめる。終わりまで見る。
(5)	見切る	①全部見る。すっかり見る。②見込みがないとして、あきらめる。③見極めをつける。④商品の売れ行きを見限って、安く売る。

番号	短文づくり
(1)	私たちの練習の様子に、相手チームは「勝てそうもない」と見切って、あきらめたようだった。
(2)	マラソン大会の応援では、最後の一人がゴールするまで見届けたい。
(4)	未来まで見通して、資源を無駄づかいしない生活をする。
(5)	相手の魂胆（こんたん）を見透かして、冷静に対応する。

チャレンジ①②は、先生に見てもらいましょう。

チャレンジ③ チャレンジ①で考えた複合動詞を使って、短文を作りましょう。

作った短文は、先生に見てもらいましょう。

[言葉を使いこなすシリーズ] 複合動詞 2
見損なわないように！

年 組 氏名

このシリーズでは、「複合動詞」の意味・用法を学習します。

複合動詞とは、二つ以上の動詞が組み合わさって一つの動詞になった語です。例えば、

「飛ぶ」+「上がる」 → 「飛び上がる」
「考える」+「込む」 → 「考え込む」

などがあります。

会話や文の中に効果的に使うことで、表現が豊かになります。例えば、

「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考えた。」
「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考え込んだ。」

だと、複合動詞を使った方は、あれこれと検討することがあって時間もかかっている様子が表されます。

複合動詞の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉があります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

<課題>

- (1)から(5)の文を読み、複合動詞を終止形で抜き出しましょう。
- (1)から(5)の文のうち、文として最も正しく成り立っているものを選び、番号で答えましょう。

番号	文		複合動詞
(1)	みんなで作ったルールだから、ちょっとした違反でも、見誤ってはいけない。	→	
(2)	混雑している中で、友だちを見逃してしまった。	→	
(3)	雰囲気流されて、一番大切な目標を見損なってはいけない。	→	
(4)	間違ったことは、黙って見過ごすことはできない。	→	
(5)	そんないい加減なことをするとは、彼のことは見失っていた。	→	

文として最も正しく成り立っているもの →

番号

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 2
見損なわないように！

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	<small>みあやま</small> 見誤る	
(2)	<small>みのが</small> 見逃す	
(3)	<small>みそこ</small> 見損なう	
(4)	<small>みす</small> 見過ごす	①見ていながら気がつかない。②気がついていながら何もせずそのままにしておく。
(5)	<small>みうしな</small> 見失う	

文として正しく成り立っているもの (4)

問題の文の複合動詞を入れ替えて、正しい短文になおしましょう。

番号	短文づくり
(1)	
(2)	
(3)	
(5)	

チャレンジ① 上の複合動詞から一つを選び、「見」の部分に違う動詞が入る複合動詞を考えましょう。

選んだ複合動詞＝

答＝

例

見上げる

さし上げる

チャレンジ② ①で考えた複合動詞の意味を、辞書を使って確かめましょう。

--

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 2
見損なわないように！

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	見誤る	見て他のものと間違える。判断を誤る。
(2)	見逃す	①気がつかないでそのままにする。②見て気がついていながら、わざと、とがめないでおく。③見ることを逃す。④野球で、打者が好球をバットを振らないで見送る。
(3)	見損なう	①見間違ふ。②見たいと思っていたものを見ないでしまう。③評価を誤る。
(4)	見過ごす	①見ていながら気がつかない。②気がついていながら何もせずそのままにしておく。
(5)	見失う	今まで見ていたものが、どこにあるのかわからなくなる。

番号	短文づくり
(1)	みんなで作ったルールだから、ちょっとした違反でも、見逃してはいけない。
(2)	混雑している中で、友だちを見失ってしまった。
(3)	雰囲気流されて、一番大切な目標を見誤ってはいけない。
(5)	そんないい加減なことをするとは、彼のことを見損なっていた。

チャレンジ①②は、先生に見てもらいましょう。

チャレンジ③ チャレンジ①で考えた複合動詞を使って、短文を作りましょう。

作った短文は、先生に見てもらいましょう。

[言葉を使いこなすシリーズ] 複合動詞 3
見とれていますか？

年 組 氏名

このシリーズでは、「複合動詞」の意味・用法を学習します。

複合動詞とは、二つ以上の動詞が組み合わさって一つの動詞になった語です。例えば、

「飛ぶ」+「上がる」 → 「飛び上がる」
「考える」+「込む」 → 「考え込む」

などがあります。

会話や文の中に効果的に使うことで、表現が豊かになります。例えば、

「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考えた。」
「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考え込んだ。」

だと、複合動詞を使った方は、あれこれと検討することがあって時間もかかっている様子が表されます。

複合動詞の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉があります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになります。

<課題>

- (1)から(5)の文を読み、複合動詞を終止形で抜き出しましょう。
- (1)から(5)の文のうち、文として最も正しく成り立っているものを一つ選び、番号で答えましょう。

番号	文		複合動詞
(1)	校則改正についての生徒会だよりが配られ、みんな、熱心に見とれていた。	→	
(2)	彼が描いた絵があまりに素晴らしいので、思わず見立ててしまった。	→	
(3)	友人が入院したので、授業のノートを持って、見入る。	→	
(4)	隣家のご夫婦は、中学校の入学式で互いに見初めたのだそうだ。	→	
(5)	しんどいので、お医者さんに行くと、軽い風邪(かぜ)だと見舞われた。	→	

番号

文として最も正しく成り立っているもの

→

--

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 3
見とれていますか？

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	見とれる	
(2)	見立てる	
(3)	見入る	
(4)	見初める	異性を一目見て好きになる。
(5)	見舞う	

文として正しく成り立っているもの (4)

問題の文の複合動詞を入れ替えて、正しい短文になおしましょう。

番号	短文づくり
(1)	
(2)	
(3)	
(5)	

チャレンジ① 上の複合動詞から一つを選び、「見」の部分に違う動詞が入る複合動詞を考えましょう。

選んだ複合動詞＝

答＝

例

見上げる
さし上げる

チャレンジ② ①で考えた複合動詞の意味を、辞書を使って確かめましょう。

--

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 3
見とれていますか？

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	見とれる	心を奪われてうっとりとする。
(2)	見立てる	①見て選ぶ。選定する。②診断する。判断する。③仮定する。なぞらえる。
(3)	見入る	一心にじっと見る。見とれる。
(4)	見初める	異性を一目見て好きになる。
(5)	見舞う	①病人や災難にあった人のもとを訪れたり、無事かどうか手紙で尋ねて慰めたりする。②好ましくないものや災難がある人に及ぶ。

番号	短文づくり
(1)	校則改正についての生徒会だよりが配られ、みんな、熱心に見入っていた。
(2)	彼が描いた絵があまりに素晴らしいので、思わず見とれてしまった。
(3)	友人が入院したので、授業のノートを持って、見舞う。
(5)	しんどいので、お医者さんに行くと、軽い風邪（かぜ）だと見立てられた。

チャレンジ①②は、先生に見てもらいましょう。

チャレンジ③ チャレンジ①で考えた複合動詞を使って、短文を作りましょう。

作った短文は、先生に見てもらいましょう。

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 4
見放さないで！

年 組 氏名

このシリーズでは、「複合動詞」の意味・用法を学習します。

複合動詞とは、二つ以上の動詞が組み合わさって一つの動詞になった語です。例えば、

「飛ぶ」+「上がる」 → 「飛び上がる」
「考える」+「込む」 → 「考え込む」

などがあります。

会話や文の中に効果的に使うことで、表現が豊かになります。例えば、

「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考えた。」
「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考え込んだ。」

だと、複合動詞を使った方は、あれこれと検討することがあって時間もかかっている様子が表されます。

複合動詞の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉があります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

<課題>

- (1)から(5)の文を読み、複合動詞を終止形で抜き出しましょう。
- (1)から(5)の文のうち、文として最も正しく成り立っているものを一つ選び、番号で答えましょう。

番号	文		複合動詞
(1)	私たちは相手チームを見返してしまったため、惨敗(ざんぱい)した。	→	
(2)	まだ結果は出ていないが、がんばっている親友を見限るわけにいかない。	→	
(3)	私があまりに努力しないので、友だちにも見合わされた。	→	
(4)	大雨になりそうなので、遊びに行くのを見放した。	→	
(5)	今度の試合でついに勝つことができ、相手を見くびることができた。	→	

番号

文として最も正しく成り立っているもの

→

--

[言葉を使いこなすシリーズ] 複合動詞 4
見放さないで！

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	^{みかえ} 見返す	
(2)	^{みかぎ} 見限る	これ以上見込みがないと判断する。また、そうしてそれ以上相手にしない。
(3)	^{みあ} 見合わせる	
(4)	^{みはな} 見放す	
(5)	^み 見くびる	

文として正しく成り立っているもの (2)

問題の文の複合動詞を入れ替えて、正しい短文になおしましょう。

番号	短文づくり
(1)	
(3)	
(4)	
(5)	

チャレンジ① 上の複合動詞から一つを選び、「見」の部分に違う動詞が入る複合動詞を考えましょう。

選んだ複合動詞＝

答＝

例

見上げる

さし上げる

チャレンジ② ①で考えた複合動詞の意味を、辞書を使って確かめましょう。

--

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 4
見放さないで！

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	見返す	①もう一度見直す。②見られたことに対してこちらも相手を見る。③昔あなどられた相手に、立派になった姿を見せつける。
(2)	見限る	これ以上見込みがないと判断する。また、そうしてそれ以上相手にしない。
(3)	見合わせる	①互いに見合う。②くらべてみる。対照する。③実行するのをやめて、しばらく様子を見る。④時期を見計らう。
(4)	見放す	だめだとあきらめて見切りをつける。さじをなげる。
(5)	見くびる	たいしたことはないともかく見る。あなどる。みくだす。

番号	短文づくり
(1)	私たちは相手チームを見くびってしまったため、惨敗（ごんばい）した。
(3)	私があまりに努力しないので、友だちにも見放された。
(4)	大雨になりそうなので、遊びに行くのを見合わせた。
(5)	今度の試合でついに勝つことができ、相手を見返すことができた。

チャレンジ①②は、先生に見てもらいましょう。

チャレンジ③ チャレンジ①で考えた複合動詞を使って、短文を作りましょう。

作った短文は、先生に見てもらいましょう。

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 5
見直しましょう

年 組 氏名

このシリーズでは、「複合動詞」の意味・用法を学習します。

複合動詞とは、二つ以上の動詞が組み合わさって一つの動詞になった語です。例えば、

「飛ぶ」+「上がる」 → 「飛び上がる」
「考える」+「込む」 → 「考え込む」

などがあります。

会話や文の中に効果的に使うことで、表現が豊かになります。例えば、

「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考えた。」
「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考え込んだ。」

だと、複合動詞を使った方は、あれこれと検討することがあって時間もかかっている様子が表されます。

複合動詞の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉があります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

<課題>

- (1)から(5)の文を読み、複合動詞を終止形で抜き出しましょう。
- (1)から(5)の文のうち、文として最も正しく成り立っているものを一つ選び、番号で答えましょう。

番号	文		複合動詞
(1)	図書室にマンガをおくことについて、話し合いがまとまらず、今回は見つかることにした。	→	
(2)	彼の誠実さを見かけて、面倒な頼み事をする。	→	
(3)	かくれんぼで鬼に見込んだ。	→	
(4)	イヌの散歩でよく見送る人とあいさつを交わすようになった。	→	
(5)	ぞうきをきちんと洗っている姿に、いい加減だと思っていた彼の こと を見直した。	→	

番号

文として最も正しく成り立っているもの

→

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 5
見直しましょう

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	み 見つか る	
(2)	み 見か ける	
(3)	み 見込 む	
(4)	み 見送 る	
(5)	み 見直 す	①もう一度よく見る。②再検討する。③見方を変えてこれまで気づかなかった価値を認め、考えを改める。

文として正しく成り立っているもの (5)

問題の文の複合動詞を入れ替えて、正しい短文になおしましょう。

番号	短文づくり
(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

チャレンジ① 上の複合動詞から一つを選び、「見」の部分に違う動詞が入る複合動詞を考えましょう。

選んだ複合動詞＝

答＝

例

見上げる

さし上げる

チャレンジ② ①で考えた複合動詞の意味を、辞書を使って確かめましょう。

--

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 5
見直しましょう

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	見つかる	①人に見つけられる。人の目にとまる。②探し求めているものを見つけることができる。
(2)	見かける	①目に入る。目にとめる。②見始めて途中でやめる。
(3)	見込む	①有望だと思う。②予想して勘定に入れる。めあてとする。
(4)	見送る	①去っていくものを目で追う。②去っていく人とあるところまで一緒に行く。③死ぬ時まで世話をする。④計画していたことの実行をのばす。⑤見逃す。
(5)	見直す	①もう一度よく見る。②再検討する。③見方を変えてこれまで気づかなかった価値を認め、考えを改める。

番号	短文づくり
(1)	図書室にマンガをおくことについて、話し合いがまとまらず、今回は見送ることにした。
(2)	彼の誠実さを見込んで、面倒な頼み事をする。
(3)	かくれんぼで鬼に見つかった。
(4)	イヌの散歩でよく見かける人とあいさつを交わすようになった。

チャレンジ①②は、先生に見てもらいましょう。

チャレンジ③ チャレンジ①で考えた複合動詞を使って、短文を作りましょう。

作った短文は、先生に見てもらいましょう。

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 6
聞き入ろう！

年 組 氏名

このシリーズでは、「複合動詞」の意味・用法を学習します。

複合動詞とは、二つ以上の動詞が組み合わさって一つの動詞になった語です。例えば、

「飛ぶ」+「上がる」 → 「飛び上がる」
「考える」+「込む」 → 「考え込む」

などがあります。

会話や文の中に効果的に使うことで、表現が豊かになります。例えば、

「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考えた。」
「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考え込んだ。」

だと、複合動詞を使った方は、あれこれと検討することがあって時間もかかっている様子が表されます。

複合動詞の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉があります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

<課題>

- (1)から(5)の文を読み、複合動詞を終止形で抜き出しましょう。
- (1)から(5)の文のうち、文として最も正しく成り立っているものを一つ選び、番号で答えましょう。

番号	文		複合動詞
(1)	先生はさりげなくおっしゃったが、しっかり聞き入っておこうと思った。	→	
(2)	放課後の静かな教室で秒針の音がするのを、じっと聞き取っていた。	→	
(3)	吹奏楽部の素晴らしい演奏に、みんなが聞きほれていた。	→	
(4)	先生がくださる読み聞かせに、みんなが聞き澄ましていた。	→	
(5)	休み時間中のできごとなので、近くにいた人たちからその時の様子を聞きとめねばならない。	→	

番号

文として最も正しく成り立っているもの

→

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 6
聞き入ろう！

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	聞き ^い 入る	
(2)	聞き ^と 取る	
(3)	聞き ^ほ れる	心を奪われてうっとり ^ほ れ聞き入る。
(4)	聞き ^す 澄ます	
(5)	聞き ^と める	

文として正しく成り立っているもの (3)

問題の文の複合動詞を入れ替えて、正しい短文になおしましょう。

番号	短文づくり
(1)	
(2)	
(4)	
(5)	

チャレンジ① 上の複合動詞から一つを選び、「見」の部分に違う動詞が入る複合動詞を考えましょう。

選んだ複合動詞＝

答＝

例

見上げる

さし上げる

チャレンジ② ①で考えた複合動詞の意味を、辞書を使って確かめましょう。

--

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 6
聞き入ろう！

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	聞き入る	熱心に聞く。身を入れて聞く。
(2)	聞き取る	①音声や話を聞いてはっきり理解する。②事情がはっきり分かるように聞く。
(3)	聞きほれる	心を奪われてうっとり聞き入る。
(4)	聞き澄ます	耳を澄まして注意して聞く。静かに聞き入る。
(5)	聞きとめる	聞いて心にとめる。

番号	短文づくり
(1)	先生はさりげなくおっしゃったが、しっかり聞きとめておこうと思った。
(2)	放課後の静かな教室で秒針の音がするのを、じっと聞き澄ましていた。
(4)	先生がしてくださる読み聞かせに、みんなが聞き入っていた。
(5)	休み時間中のできごとなので、近くにいた人たちからその時の様子を聞き取らねばならない。

チャレンジ①②は、先生に見てもらいましょう。

チャレンジ③ チャレンジ①で考えた複合動詞を使って、短文を作りましょう。

作った短文は、先生に見てもらいましょう。

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 7
聞きたがえてはいけません

年 組 氏名

このシリーズでは、「複合動詞」の意味・用法を学習します。

複合動詞とは、二つ以上の動詞が組み合わさって一つの動詞になった語です。例えば、

「飛ぶ」+「上がる」 → 「飛び上がる」
「考える」+「込む」 → 「考え込む」

などがあります。

会話や文の中に効果的に使うことで、表現が豊かになります。例えば、

「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考えた。」
「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考え込んだ。」

だと、複合動詞を使った方は、あれこれと検討することがあって時間もかかっている様子が表されます。

複合動詞の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉があります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになります。

<課題>

- (1)から(5)の文を読み、複合動詞を終止形で抜き出しましょう。
- (1)から(5)の文のうち、文として最も正しく成り立っているものを一つ選び、番号で答えましょう。

番号	文		複合動詞
(1)	あわてていたので、連絡を聞き損なってしまう、集合時刻を間違えた。	→	
(2)	聞き漏らしたこともかもしれないが、大事なことは何度でも伝えねばならない。	→	
(3)	祖父は、「三分の一の値段」を「サンドイッチの値段」と聞き過ごしたことがあるそうだ。	→	
(4)	友だちとおしゃべりしていたので、説明を聞きたがえてしまい、集合時刻がわからなくなってしまった。	→	
(5)	彼女が実は悩んでいるとは、聞き飽きて放置しておくことのできない話だ。	→	

番号

文として最も正しく成り立っているもの

→

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 7
聞きたがえてはいけません

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	聞き ^{そこ} 損なう	①聞いてはいても相手の言うことをまちがえて聞く。②聞く機会をのがす。
(2)	聞き ^も 漏らす	
(3)	聞き ^す 過ごす	
(4)	聞き ^き たがえる	
(5)	聞き ^あ 飽きる	

文として正しく成り立っているもの (1)

問題の文の複合動詞を入れ替えて、正しい短文になおしましょう。

番号	短文づくり
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

チャレンジ① 上の複合動詞から一つを選び、「見」の部分に違う動詞が入る複合動詞を考えましょう。

選んだ複合動詞＝

答＝

例

見上げる

さし上げる

チャレンジ② ①で考えた複合動詞の意味を、辞書を使って確かめましょう。

--

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 7
聞きたがえてはいけません

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	聞き損なう	①聞いてはいても相手の言うことをまちがえて聞く。②聞く機会をのがす。
(2)	聞き漏らす	①聞くべきことを聞かないでしまう。②聞いてほかへもらす。
(3)	聞き過ごす	聞いても心にとめないでおく。
(4)	聞きたがえる	人の言葉を聞いて、他の言葉として受けとる。「ききちがえる」に同じ。
(5)	聞き飽きる	たびたび聞いてもう十分だという気になる。

番号	短文づくり
(2)	聞き飽きたことかもしれないが、大事なことは何度でも伝えねばならない。
(3)	祖父は、「三分の一の値段」を「サンドイッチの値段」と聞きたがえたことがあるそうだ。
(4)	友だちとおしゃべりしていたので、説明を聞き漏らしてしまい、集合時刻がわからなくなってしまった。
(5)	彼女が実は悩んでいるとは、聞き過ごして放置しておくことのできない話だ。

チャレンジ①②は、先生に見てもらいましょう。

チャレンジ③ チャレンジ①で考えた複合動詞を使って、短文を作りましょう。

作った短文は、先生に見てもらいましょう。

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 8
 聞きつけている？

年 組 氏名

このシリーズでは、「複合動詞」の意味・用法を学習します。

複合動詞とは、二つ以上の動詞が組み合わさって一つの動詞になった語です。例えば、

「飛ぶ」+「上がる」 → 「飛び上がる」
 「考える」+「込む」 → 「考え込む」

などがあります。

会話や文の中に効果的に使うことで、表現が豊かになります。例えば、

「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考えた。」
 「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考え込んだ。」

だと、複合動詞を使った方は、あれこれと検討することがあって時間もかかっている様子が表されます。

複合動詞の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉があります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになります。

<課題>

- (1)から(5)の文を読み、複合動詞を終止形で抜き出しましょう。
- (1)から(5)の文のうち、文として最も正しく成り立っているものを一つ選び、番号で答えましょう。

番号	文		複合動詞
(1)	聞き込んだ決まり文句は、心に響いてこない。	→	
(2)	先生に掃除分担変更の提案をしたら、「突然なので、今日のところは聞きつけるだけにしておく。」とのことだった。	→	
(3)	だれにも教えていなかったのに、どこから聞き古したのか、私が留学することを彼は知っていた。	→	
(4)	何とはなしに聞きはさんだのだが、もうすぐ、学級のバレーボールが新しいのになるそうだ。	→	
(5)	修学旅行の行き先についてうわさを聞き置いたが、本当だろうか。	→	

番号

文として最も正しく成り立っているもの

→

--

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 8
聞きつけている？

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	聞き込む	
(2)	聞きつける	
(3)	聞き古す	
(4)	聞きはさむ	聞くとはなしに聞く。小耳にはさむ。
(5)	聞き置く	

文として正しく成り立っているもの (4)

問題の文の複合動詞を入れ替えて、正しい短文になおしましょう。

番号	短文づくり
(1)	
(2)	
(3)	
(5)	

チャレンジ① 上の複合動詞から一つを選び、「見」の部分に違う動詞が入る複合動詞を考えましょう。

選んだ複合動詞＝

答＝

例

見上げる

さし上げる

チャレンジ② ①で考えた複合動詞の意味を、辞書を使って確かめましょう。

--

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 8
聞きつけている？

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	聞き込む	聞いて情報を得る。
(2)	聞きつける	①一般には知られていなかったことを聞き出して知る。②音や声を聞いて気がつく。③聞き慣れている。
(3)	聞き古す	聞き慣れて新鮮味をなくす。
(4)	聞きはさむ	聞くとはなしに聞く。小耳にはさむ。
(5)	聞き置く	①目上の者が目下の者の言うことを聞くだけにして、返事や意見を言わないで置く。②聞いて覚えておく。

番号	短文づくり
(1)	聞き古した決まり文句は心に響いてこない。
(2)	先生に掃除分担変更の提案をしたら、「突然なので、今日のところは聞き置くだけにして置く。」とのことだった。
(3)	だれにも教えていなかったのに、どこから聞きつけたのか、私が留学することを彼は知っていた。
(5)	修学旅行の行き先についてうわさを聞き込んだが、本当だろうか。

チャレンジ①②は、先生に見てもらいましょう。

チャレンジ③ チャレンジ①で考えた複合動詞を使って、短文を作りましょう。

作った短文は、先生に見てもらいましょう。

「言葉を使いこなすシリーズ」 複合動詞 9
聞きただすことは大切

年 組 氏名

このシリーズでは、「複合動詞」の意味・用法を学習します。

複合動詞とは、二つ以上の動詞が組み合わさって一つの動詞になった語です。例えば、

「飛ぶ」+「上がる」 → 「飛び上がる」
「考える」+「込む」 → 「考え込む」

などがあります。

会話や文の中に効果的に使うことで、表現が豊かになります。例えば、

「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考えた。」
「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考え込んだ。」

だと、複合動詞を使った方は、あれこれと検討することがあって時間もかかっている様子が表されます。

複合動詞の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉があります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになります。

<課題>

- (1)から(5)の文を読み、複合動詞を終止形で抜き出しましょう。
- (1)から(5)の文のうち、文として最も正しく成り立っているものを一つ選び、番号で答えましょう。

番号	文		複合動詞
(1)	彼は恥ずかしがるだろうから、彼がしているボランティアのことを根ほり葉ほり聞き返すのはやめておこう。	→	
(2)	彼はなぜそんなことをしたのか、彼と会って、改めて聞き合わせねばならない。	→	
(3)	学級美化係の人に、教室でメダカを飼うのはどうかと尋ねられたので、逆に「あなたの意見は？」と聞きほじった。	→	
(4)	制服の更衣期間になったので、明日はどうするか、電話で何人かの友だちに聞きただした。	→	
(5)	何も考えずに言ったことを、友だちが「前に言っていたことと矛盾している。」と聞きとがめて注意してくれた。	→	

番号

文として最も正しく成り立っているもの

→

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 9
 聞きただすことは大切

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	聞き返す ^{き かえ}	
(2)	聞き合わせる ^{き あ}	
(3)	聞きほじる ^き	
(4)	聞きただす ^き	
(5)	聞きとがめる ^き	人の話の誤りや問題点などに気づく。また、それに注意したり非難したりする。

文として正しく成り立っているもの (5)

問題の文の複合動詞を入れ替えて、正しい短文になおしましょう。

番号	短文づくり
(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

チャレンジ① 上の複合動詞から一つを選び、「見」の部分に違う動詞が入る複合動詞を考えましょう。

選んだ複合動詞＝

答＝

例

見上げる

さし上げる

チャレンジ② ①で考えた複合動詞の意味を、辞書を使って確かめましょう。

--

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 9
 聞きただすことは大切

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	聞き返す	①一度聞いたことを繰り返して聞く。②聞こえなかったり、理解できなかつたりして、問い返す。③相手から聞かれたことについて、逆にこちらから聞く。
(2)	聞き合わせる	①何人かの人に問い合わせる。②あれこれ聞いて、考え合わせる。
(3)	聞きほじる	あれこれと細かいことまでたずねる。
(4)	聞きただす	物事の不明な点などを質問して確かめる。
(5)	聞きとがめる	人の話の誤りや問題点などに気づく。また、それに注意したり非難したりする。

番号	短文づくり
(1)	彼は恥ずかしがるだろうから、彼がしているボランティアのことを根ほり葉ほり聞きほじるのはやめておこう。
(2)	なぜそんなことをしたのか、彼と会って、改めて聞きたださねばならない。
(3)	学級美化係の人に、教室でメダカを飼うのはどうかと尋ねられたので、逆に「あなたの意見は？」と聞き返した。
(4)	制服の更衣期間になったので、明日はどうするか、電話で何人かの友だちに聞き合わせた。

チャレンジ①②は、先生に見てもらいましょう。

チャレンジ③ チャレンジ①で考えた複合動詞を使って、短文を作りましょう。

作った短文は、先生に見てもらいましょう。

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 10
 聞き届ける？ 聞き入れる？

年 組 氏名

このシリーズでは、「複合動詞」の意味・用法を学習します。

複合動詞とは、二つ以上の動詞が組み合わさって一つの動詞になった語です。例えば、

「飛ぶ」+「上がる」 → 「飛び上がる」
 「考える」+「込む」 → 「考え込む」

などがあります。

会話や文の中に効果的に使うことで、表現が豊かになります。例えば、

「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考えた。」
 「私たちは、合唱コンクールの自由曲を何にするか、考え込んだ。」

だと、複合動詞を使った方は、あれこれと検討することがあって時間もかかっている様子が表されます。

複合動詞の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉があります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになります。

<課題>

- (1)から(5)の文を読み、複合動詞を終止形で抜き出しましょう。
- (1)から(5)の文のうち、文として最も正しく成り立っているものを一つ選び、番号で答えましょう。

番号	文		複合動詞
(1)	少し聞き入れただけだから、大切なことは何もわかっていない。	→	
(2)	これまでの地道な取り組みによって、ついに私たちの願いが聞き届けられた。	→	
(3)	講師の方が話されたことは、録音したものをもう一度聞きかじって、正確に理解しておく。	→	
(4)	先輩は、私たちの提案を聞き及んでくれたが、「言ったこと責任を持つように」と念を押すことも忘れなかった。	→	
(5)	我が校の卒業生には世界的な科学者がいると以前から聞き直していたが、その方が来校して授業して下さることになった。	→	

番号

文として最も正しく成り立っているもの

→

--

〔言葉を使いこなすシリーズ〕 複合動詞 10
聞き届ける？ 聞き入れる？

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	聞き入れる	
(2)	聞き届ける	要求や願いなどを聞いて、それを認め許す。
(3)	聞きかじる	
(4)	聞き及ぶ	
(5)	聞き直す	

文として正しく成り立っているもの (2)

問題の文の複合動詞を入れ替えて、正しい短文になおしましょう。

番号	短文づくり
(1)	
(3)	
(4)	
(5)	

チャレンジ① 上の複合動詞から一つを選び、「見」の部分に違う動詞が入る複合動詞を考えましょう。

選んだ複合動詞＝

答＝

例

見上げる

さし上げる

チャレンジ② ①で考えた複合動詞の意味を、辞書を使って確かめましょう。

--

[言葉を使いこなすシリーズ] 複合動詞 10
聞き届ける？ 聞き入れる？

年 組 氏名

番号	複合動詞	辞書を使って意味を調べましょう。
(1)	聞き入れる	要求や願いなどを聞いて、承諾する。
(2)	聞き届ける	要求や願いなどを聞いて、それを認め許す。
(3)	聞きかじる	話をちょっと聞いて、部分的・表面的な知識を持つ。
(4)	聞き及ぶ	人づてに聞いて知る。以前から聞いて知っている。
(5)	聞き直す	①一度聞いたことをもう一度聞く。②聞いて考え直す。

番号	短文づくり
(1)	少し聞きかじっただけだから、大切なことは何もわかっていない。
(3)	講師の方が話されたことは、録音したものをもう一度聞き直して、正確に理解しておく。
(4)	先輩は、私たちの提案を聞き入れてくれたが、「言ったことの責任を持つように」と念を押すことも忘れなかった。
(5)	我が校の卒業生には世界的な科学者がいると以前から聞き及んでいたが、その方が来校して授業して下さることになった。

チャレンジ①②は、先生に見てもらいましょう。

チャレンジ③ チャレンジ①で考えた複合動詞を使って、短文を作りましょう。

作った短文は、先生に見てもらいましょう。